

# 喚鐘を綺麗に打ちたい人へ



## 喚鐘の上達のコツは

### 強弱、間隔、なめらかさ

打ち上げの初めは、できるだけ弱く、  
間隔は できるだけ短く、細かく打つ。  
最初から、強く打ってしまうと、強弱の差が感じられず メリハリがなくなる。  
初めの間隔を十分に短く細かくしないと、後で間隔を空けることができず単調になる。  
だんだんと強く力を入れて、少しずつ間隔を長くしていく。  
途中で急にスピードが変わらないように、なめらかさに注意する。

打ち下ろしは、その逆です。  
初めは、できるだけ強く、間隔は長く打つ。  
最初が弱いと、ずっと弱いままで メリハリがなくなる。  
はじめに十分間隔を空けておかないと、後で間隔を短くできず 単調になる。  
徐々に打つ力をゆるめ、だんだんと間隔を短く細かくしていく。  
この時も、スピードの急変を防ぎながら、なめらかさを意識する。

## 練習方法

ご自宅の仏壇で打ち上げ、打ち下ろしを それぞれ時計を見ながら  
20秒、30秒というふうに時間を決めてやってみる。  
単調になったり、スピードが急に変わらないように気を付けること。

他の人の打ち方を よく聞いて、どこが良いか、悪いかを考えてみる。  
ヒントは打ち上げ、打ち下ろし 共通して最初の打ち方で大体分かります。

打ち上げの初めが強く、細かさが足りない人は、短時間で終わってしまいます。  
打ち下ろしの初めの間隔を十分空けないと、これも短時間で終わってしまいます。  
上手な人が打つと、なんとなく時間が長く感じるのは、この逆をやっているからです。

20秒以上かけて、スピードが急変せず、最後で行き詰まることなく、  
なめらかに 打ち上げ(打ち下ろし)が出来るように練習してみましょう。